

第2回市民会館及び周辺地区にぎわいづくり調査特別委員会会議記録

日 時 令和5年8月10日（木曜日）
場 所 水戸市議会 第1・第2委員会室

午前11時57分 開議
午後 零時 6分 散会

付託事件

- (1) 市民会館及び周辺地区（M i t o r i O）のにぎわい創出に関する事
- (2) 市民会館の利用促進に関する事

1 本日の会議に付した事件

- (1) 市民会館の利用状況及び周辺地区のにぎわいづくりについて

2 出席委員（26名）

委 員 長	袴 塚 孝 雄 君	副 委 員 長	黒 木 勇 君
委 員	池 田 悠 紀 君	委 員	中 庭 由 美 子 君
委 員	土 田 記 代 美 君	委 員	田 中 真 己 君
委 員	渡 辺 欽 也 君	委 員	細 谷 智 宏 君
委 員	打 越 美 和 子 君	委 員	マ ー サ ー 川 又 君
委 員	森 智 世 子 君	委 員	滑 川 友 理 君
委 員	萩 谷 慎 一 君	委 員	田 尻 由 紀 子 君
委 員	森 正 慶 君	委 員	佐 藤 昭 雄 君
委 員	後 藤 通 子 君	委 員	鬼 澤 真 寿 君
委 員	藤 澤 康 彦 君	委 員	須 田 浩 和 君
委 員	田 口 文 明 君	委 員	鈴 木 宣 子 君
委 員	高 倉 富 士 男 君	委 員	綿 引 健 君
委 員	安 藏 栄 君	委 員	松 本 勝 久 君

3 欠席委員（1名）

委 員 小 泉 康 二 君

4 委員外議員出席者（なし）

5 説明のため出席した者の職、氏名

副 市 長	田 尻 充 君	副 市 長	秋 葉 宗 志 君
市長公室長	小 田 木 健 治 君	政策企画課長	宮 川 孝 光 君
総 務 部 長	園 部 孝 雄 君		
財 務 部 長	白 田 敏 範 君	財 政 課 長	佐 藤 直 明 君

市民協働部長	小嶋	いつみ	君	市民協働部長 市副部長	柏	直樹	君
市民協働部 参事兼 新市民会館 整備課長	須藤	文彦	君	文化交流課長	上原	純大	君
産業経済部長	長谷川	昌人	君	産業経済部 参事兼 観光課長	小林	一仁	君
商工課長	楢崎	芳明	君				
都市計画部長	太田	達彦	君	都市計画部技監兼 泉町周辺地区 開発事務所長	大森	幹司	君
都市計画課長	平澤	俊之	君				
6 事務局職員出席者							
事務局長	天野	純一	君	総務課長	加藤	清文	君
議事課長	大嶋	実	君	法制調査係長	武田	侑未子	君
書記	大内	しおり	君	書記	昆	節夫	君

午前 11 時 57 分 開議

○袴塚委員長 それでは、大変引き続き御苦勞さまでございます。

定足数に達しておりますので、ただいまから第 2 回市民会館及び周辺地区にぎわいづくり調査特別委員会を開催いたします。

議事に先立ちまして、小泉委員が所用のため欠席との連絡がありましたので、御報告をさせていただきます。

この際、御報告いたします。

本日は一般傍聴人 2 名がお見えでございますので、よろしくお願いいたします。

〔傍聴人入室〕

○袴塚委員長 なお、カメラ等の撮影はございません。

この際、当委員会における着席の位置につきましては、現在御着席のとおりとさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 それでは、着席の位置につきましては、現在のとおりとさせていただきます。

それでは、これより議事に入ります。

初めに、当委員会の運営に係る基本的な考え方を確認させていただきます。

当委員会は、設置要項におきまして、市民会館及び周辺地区のにぎわい創出に関する事、市民会館の利用促進に関する事についてを調査、検討の目的としております。

したがいまして、市民会館建設の是非に関する御質問等につきましては、論議の対象外とさせていただきたいと思いますので、あらかじめ御承知おきいただきますようお願いを申し上げます。

次に、当委員会の運営に当たっての出席説明員についてでございますが、論議する内容によって、適宜、正副委員長——黒木副委員長と相談の上、説明員の出席を要求してまいりたいと考えておりますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 御異議なしと認め、そのように決定をさせていただきます。

それでは、ただいまから本日の日程に入ります。

市民会館の利用状況及び周辺地区のにぎわいづくりについて、執行部から現在の状況を説明願います。

それでは、須藤参事兼新市民会館整備課長。

○須藤市民協働部参事兼新市民会館整備課長 それでは、市民会館の利用状況及び周辺地区のにぎわいづくりにつきまして、市民協働部新市民会館整備課提出資料にて御説明いたします。

まず、市民会館の利用状況といたしまして、開館月である令和 5 年 7 月における来館者数を御報告いたします。

市民会館にお越しになった一般の方々の建物への入り口は、この表の上部に記載のとおり、建物南の国道 50 号側、建物の西側、建物の北の水戸芸術館側、それから上空通路が接続する 2 階部分、4 か所がございます。各入り口のセンサーによりまして、建物に入ってくる方の人数がカウントできるようになっておりま

す。

この表は、この4か所の入り口ごとに集計した来館者数を日付ごとに表にまとめたものでございます。

右の欄には参考といたしまして、その日の主な催事を記載いたしました。

開館日の7月2日日曜日の来館者数は、合計欄のとおり1万1,084人で、その次の7月3日月曜日からまた金曜日までの平日は、毎日2,000人以上の来館がありました。その翌週以降も週末に大きな催事がある日には、平日の来館者数を大きく上回る傾向が見て取れます。

表の一番下を御覧ください。

7月2日から7月31日までの30日間の来館者数は1万1,157人、1日平均は3,705人でした。年間の来館者数60万人の目標を達成できるよう今後とも努力してまいります。

続きまして、裏面の2ページを御覧ください。

2といたしまして、周辺地区のにぎわいづくりについて御説明いたします。

市民会館周辺地区のにぎわいを創出するために、本市では(1)に記載のとおり、新市民会館周辺地区のにぎわい推進協議会を設置して取組を進めているところでございます。

本協議会は、公益財団法人水戸市芸術振興財団、株式会社水戸京成百貨店の職員、そして、水戸市職員を構成員として、令和元年7月25日に設置し、その後、水戸商工会議所、一般社団法人水戸観光コンベンション協会、市民会館指定管理者の職員を構成員に追加し、市民会館周辺のにぎわい創出に資する取組の協議を行ってまいりました。

これまでに令和3年度のエリア愛称「M i t o r i O」の制定や昨年度のミトリオフェスティバルの開催などの実績を重ねてきておりまして、今後はM i t o r i Oにぎわい推進協議会といった名称に変更し、さらなるエリアの価値の向上に資する事業に取り組んでまいります。

(2)の本協議会の令和5年度の主な事業でございますが、ミトリオ周辺グルメガイドというものを作成いたしまして、開館日にあわせて市民会館のホームページで公開するなどの取組を行っているところでございます。また、ミトリオ地区の魅力向上を図るため、地域団体、NPO等と連携した祝祭感のあるイベントとしてミトリオフェスティバルを本年度も実施してまいります。

開催案につきましては、2ページ中ほどに記載のとおり、アの期日は、令和5年11月25日土曜日といたしまして、開催時間は調整中でございます。

イ、会場につきましては、水戸芸術館と水戸市民会館、京成百貨店を予定いたしまして、ウの内容につきましては、当日水戸芸術館広場で開催される予定のアートタワーマーケット等のイベント主催者と連携いたしまして、各会場でステージイベントを実施するなど、ミトリオ及び周辺地区のにぎわい創出に向けて、詳細な内容を検討してまいります。

説明は以上でございます。よろしくお願いいたします。

○袴塚委員長 ありがとうございます。

ただいま執行部から御説明のあった内容について、何か御質問等がございましたら御発言を願います。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 よろしいですか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 それでは、ないようでございますので、現在の状況については、皆さん方の中で御認識を。
手を挙げましたか。

松本委員。

○松本委員 今後のこの委員会の目的の進め方等についてのことでちょっと意見を述べさせていただきたい
と思います。

○袴塚委員長 分かりました。

ただいま須藤課長のほうから御説明いただいて、開館以来、現在の状況については、こういう状況だとい
うことで御認識をいただいたものだということふうに思っております。今の執行部から御説明については、
終わりにしたいと思います。

それでは、今後の進め方等について松本委員から御意見があるようでございますので、御発言をお願いい
たします。

○松本委員 すみません、進め方というより、この委員会の目的が、市民会館、新しいものができて、この
周辺のにぎわいづくりというのが、一番目的だと思うんですね。ですから、水戸市は、次年度ですか、第
7次総合計画に係るような案件もあるかなというふうな感じがするんですね。でないと、この委員会でもっ
て、そのような新たに決めていかなければ、第7次総合計画には間に合わなくなってしまう案件も何かある
のかなというふうに思いますんで、その辺を優先で、にぎわいというのが目的の特別委員会でありますから、
周辺の整備に関わるものを先に案件として上げていただいて、そして、第7次総合計画に関わる問題があれ
ば、それに間に合うような対策を立てていかなきゃならんだろうというふうに思っています。

以上です。

○袴塚委員長 今、松本委員からこのにぎわいづくりを創出するためには、第7次総合計画等でも反映でき
るようなものがあるとすれば、そういうものを優先的に論議していくべきだということふうなお話をいただ
きました。正副委員長の中で整理をさせていただきながら、今後どういうふうな形で進めていくか、皆さん
方と御協議しながら進めさせていただきたいとこのように思います。

そのほかに何かございますか。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○袴塚委員長 よろしいですか。

それでは、ないようでございますので、本日のところはこの程度をもって散会したいと思います。

本日の特別委員会を散会いたします。

御苦労さまでした。

午後 零時 6分 散会